

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹 第2791例会 2023/09/11

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2023/09/25

会長挨拶



会長 藤嶋 剛史
去る9月2日(土)、大変残念ながら木本榮一会員が逝去されました。第4グループガバナー補佐のほか、地区でも青少年交換委員長や米山増進委員長、米山学友選考委員長を歴任されました。また、多くの米山奨学生の

カウンセラーをされた方でした。ご活躍に改めて敬意を表するとともに、心よりご冥福を祈念いたします。

さて、先週の土曜は、本日お越しいただいております新井部門委員長にお願いしまして、地区米山部門委員会にお邪魔して10月21日(土)の世界ポリオデーの事業内容と、ポリオとは何か、なぜ支援が必要なのかを奨学生に説明してきました。先日メンバーの皆さんにも説明しましたが、それを知らずに奉仕を行っても、やらされ感だけでやりがいのないものになってしまうと思います。短い時間でしたが、学生の皆さんには少し理解を深めてもらえたのではないかな、と思います。

本日の例会では米山奨学生のリャンちゃんに卓話をしてもらいますが、実はその日が奨学生卓話のレクチャーの日で、それから時間がなかったので今日は徹夜で準備して来てくれたそうです。疲れていて大変だと思いますが、期待していますのでぜひ頑張ってください。米山奨学生の卓話は、本来米山月間である10月に地区内のたくさんのクラブから依頼が来て奨学生が派遣されるのですが、今日はその練習のために、リャンちゃんにまずは自分のクラブで卓話をしてもらいます。皆さん彼女に色々アドバイスをしていただき、他のクラブへ呼ばれたときはぜひ、応援団として駆け付けましょう。

木本会員の逝去を悼み黙祷



ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

岡部 勉 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 第2770地区 米山記念奨学部門委員長 新井 登志彰 様 (上尾西 RC)
- 2023 学年度米山記念奨学生 金 亮希さん (ご紹介: 副会長 染谷 義一)



幹事報告



幹事 横溝 一樹

1. 先週もお伝えしましたが次年度地区役員推薦のご案内です。地区出向経験の無い方、30代から50代の方、女性の方に積極的に出向していただきたいとのことです。

2. 9/17(日)午前10時より鐘塚公園にて、地区社会奉仕部門主催

「ロータリー絆祭り」が開催されますのでお時間のある方はお立ち寄りください。

3. 上期会費につきまして、未納となっている方がいらっしゃいますので改めてご案内を差し上げます。ご対応お願いいたします。

4. 故・木本榮一会員の通夜が本日9/11(月)に、告別式が明日9/12(火)に営まれます。

委員長報告、派遣役員報告



■社会奉仕委員会 委員長 増永 裕樹
10/27(金)28(土)、大宮ろう学園で「のぼら祭」が行われ、バザーも開催されます。品物の提供にご協力ください。例会場か事務局までお持ちいただけますようお願いいたします。

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



■親睦委員会 委員長 川井 理砂子
10/28 (土) 29 (日) の会員親睦旅行
に多くの皆様のご参加をお待ちして
います。途中参加、途中離脱なども
考慮しますので、ご相談ください。



誕生日祝い

川村 郁夫 (12日)、内山 泰成 (18日)、永井 伸
剛 (18日)、松本 有祐 (19日)、新藤 耕四郎 (22
日)、平野 友紀 (22日)、山田 修 (25日)、坂本
哲朗 (25日)、配島 信恵 (26日)、木田 耕司 (27
日)、藤池 誠治 (29日) 各会員



代表挨拶 藤池 誠治会員
ロータリーに40年在籍し、初めて誕生日
の挨拶をします。80歳、これからもがん
ばります。



米山功労者 表彰

2023-24年度 米山功労者 表彰者

第9回 米山功労者マルチプル 2名
新藤 耕四郎会員、齋藤 實会員
感謝状【銀色】

第8回 米山功労者マルチプル 1名
渋谷 廣慶会員
感謝状【銀色】

第3回 米山功労者マルチプル 2名
小沢 孝会員、伊田 雄二郎会員
感謝状【銅色】

第2回 米山功労者マルチプル 4名
島村 まり子会員、榎本 貞寿会員、井上 勝美会員、
永井 伸剛会員
感謝状【銅色】

第1回 米山功労者 6名
川崎 春夫会員、石井 敦会員、三浦 隆一会員、
吉田 浩士会員、増永 裕樹会員、杉山 克博会員
感謝状【青色】



ロータリーの友解説

■広報委員会 副委員長 松本 有祐
横組

P.5 RI 会長メッセージ

P.30 ロータリーアットワーク

岩槻RC5/20 (土) の60周年記念例会
に前園真聖氏

縦組



P.17 友愛の広場
パキスタンでポリオ根絶活動に参加
富山南 黒川 伸一

出席報告

■出席委員会 委員長

新城 盛辛



スマイル報告

■副SAA

胡 平



卓話

第2770地区 米山記念奨学部門委員長
新井 登志彰 様 (上尾西 RC)

(1) ロータリー米山記念 奨学事業について

勉学または研究のため来日
し、我が国の大学等高等教育
機関に在籍する外国人に対し
て奨学金を支給し、ロータリー
の理想とする国際理解と親
善と平和に寄与することを目的
としています。



日本で学ぶ優秀な外国人留
生に奨学金を支給し、将来、日本と世界とを結ぶ
「懸け橋」となって国際社会で活躍する人材を育成
すること。また、ロータリー運動のよき理解者にな
ってもらうことが、使命とされています。

(2) 米山記念奨学生と学友

奨学生は月1回以上世話クラブの例会に出席。
期間終了後も学友としてコミュニティーに参加する
など、地域社会との交流の輪を広げる人材に育成し
ます。

- ・裕福層に見える留学生をなぜ支援する？
→経済状況に関わらず、何よりもその人そのものの
優秀性を見ているからです。
- ・日本人留学生を支援しては？との声
→奨学会の目的や使命に基づき、一貫して外国人留
学生が対象。

(3) 寄付金の説明と状況

寄付はその前年とほぼ同額
約14億円の事業費の全てを寄付金の収入で賄って
おります。全体支出の97%が事業費
学友からも累計4,506万円の寄付をいただいま
す(2022年6月末)



米山記念奨学生 卓話

2023 学年度米山記念奨学生

金 亮希 さん

(キム リャンヒ)

2000 年生まれ、23 歳、芝浦工業大学
大学院の建築学専攻で修士 1 年



韓国、ギョンギド ソンナム市 出身。

(ソウルから電車で 20 分の距離)

ベッドタウン、教育がちゃんとしている都市として有名

2000 年に韓国で生まれて高校までは韓国、2019 年、日本の大学に入学すると同時に日本生活を始めました。
今年、大学院生活が始まり、日本生活 5 年目になります。

様々な所を旅行していて、今まで 30 ケ国に行ってます。
「なぜ国によって建物がちがうのか？」という小さな疑問から建築に興味を持つように。そこで、建築を勉強したいと思うようになり、日本への留学を考えました。
「なぜ日本なのか？」

日本の建築学科は他の海外とは違い、建築という大きい枠の中でも工学と芸術を学ぶことができ、それが目指す建築設計であったため、日本へ留学するように。

学校生活

研究について

生成 AI

利用者の要求から新しいデータを生成する AI として、新しい創作ができるからこそ話題になっています。
このような生成 AI はポエムを作ったり、絵を描くこともできます。



「ロータリーの歌の歌詞を作ってくれ」と、チャット GPT に頼んだら、ちゃんと“奉仕”や“手と手を取り”など、ロータリーのキーワードが入ってました (笑)

私はこのような生成 AI と建築設計者が共存する建築設計を図る研究を行っています。

現代の建築設計者は自分が持っている情報で設計していて、客観的に見ることができないが、A.I とやりとりをすることで、設計者が気づいてないところを気づかせてくれます。そして、より良い設計ができるようになることを目指しています。

課外活動について

フラワープロジェクト

学校と地域をつなぐ道具としてお花を育て、
大学と地域の活性化を目指すプロジェクト。



大きく 3 つのステップ

- ①種から花を育てます。
- ②学校・地域に広げる過程で、ただ学生で広げるのではなく、学校の教職員、地域の方々も参加し、花植えイベントを行います。
- ③広報活動をし、フラワープロジェクトを運営します。

☆設計課題 (授業) や、
サークルの展示会の準備を行なっています。



奨学生生活

私は去年の 8 月、学校から話をいただき、書類審査から面接を通して合格しました。

3 月にカウンセラーと初顔合わせとオリエンテーション、
4 月に入学式がありました。急にスピーチするようになり、緊張しました (笑)

5 月には“奨学生バス旅行”で米山梅吉記念館に行って、

奨学会の歴史と背景について深く学ぶことができました。
6 月には合同委員会がありました (今月、2 回目がありました)。ロータリーからのお知らせがあったり、担当委員との話し合いや相談が行われます。

8 月には、さいたま新都心 RC に招待され、大宮の“いちごの会”さんと一緒に思い出作り旅行に行ってきました。

奨学生生活から大きく 3 つを得ることができました

①様々な方と接することができました

今まで私の世界は学校内で終わってしまっていました。
が、奨学生生活によって皆さんと会えて、他の奨学生とも友達になることができました。

②様々な体験ができました

今までこんなたくさんの人の前で話したこともなかったし、着物を着たこともなかったのですが、奨学生になってからこのような新しい経験をしています。

③学校生活、自分がやらなければいけないことに集中できるようになりました

大学院生になってから忙しくなりバイトも行けず、現在の収入は 0 円なのですが、奨学金のおかげで金銭的な心配をせず、自分の研究活動に集中することができました。

建築設計者になりたいと思っています

現在は日本で就職したいと思い、就職活動をしています
が、その後はもっと広い世界で建築と接したいと考えています。

ロータリーに対する感謝の気持ちを大事にし、日本のロータリークラブと母国である韓国、そしてこれから私が行く国をつなぐ“懸け橋”としてのキム・リャンヒになりたいと思います。